

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-1-3		事業名	水辺とのふれあい推進事業
担当	環境局環境都市推進部環境対策課 高田 Tel 211-2882			
全体計画				
事業内容	平成15年10月に策定した札幌市水環境計画に掲げる「豊かな水辺のある街」の実現に向けた施策の一環として、協働による水辺とのふれあい推進事業を以下のとおり実施する。		＜年度別の事業内容＞	
	①水生生物観察会等への実施支援 小学校や市民団体等に対し、観察会調査用品の提供・貸出や水生生物調査ハンドブック等の配布を行い、支援事業を推進していく。 ②水辺の活動発表会の開催 小学校や市民団体等による水生生物観察会等の活動成果発表会を行い、情報の共有化を図る。 ③流域水環境連絡協議会(仮称)の設置 同じ河川流域内で活動する水環境保全団体(町内会、小学校、市民団体及び企業等)に働きかけ、相互が協働できるネットワークを構築する。 ④ワークショップの開催 流域水環境連絡協議会(仮称)によるワークショップを開催し、活動を通して地域独自の水環境目標を設定していく。		＜平成19年度＞ ・水生生物観察会等への実施支援 ・水辺の活動発表会の開催 ＜平成20年度＞ ・水生生物観察会等への実施支援 ・水環境保全活動団体の状況調査 ・水質汚濁調査と併せた水生生物調査と文献調査等 ＜平成21年度＞ ・水生生物観察会等への実施支援 ・流域水環境連絡協議会(仮称)の設置 ・ワークショップの開催 ＜平成22年度＞ ・水生生物観察会等への実施支援 ・流域水環境連絡協議会(仮称)の設置 ・ワークショップの開催	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	・水生生物観察会等への実施支援、水辺の活動発表会の開催(市民参加人数 550名)		・水生生物観察会等への実施支援(市民参加人数 310人) ・水環境保全活動団体の状況調査(町内会、小学校、市民団体及び企業等) ・水質汚濁調査と併せた水生生物調査と文献調査等	
所・規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	○水生生物観察会等への実施支援、水辺の活動発表会の開催(市民参加人数 985名) ○流域水環境連絡協議会の設置 南区石山地区町内会:水生生物観察会やワークショップ開催を機に、「穴の川を守る会」を設立 ○ワークショップの開催 清田区まきば地区町内会:水生生物観察会終了後、今後の活動内容を検討するためにワークショップ開催 南区石山地区町内会:水生生物観察会終了後に、今後の活動内容を検討するためにワークショップ開催		○水生生物観察会等への実施支援、水辺の活動発表会の開催(市民参加人数 668名) ○流域水環境連絡協議会の設置支援 (清田区まきば町内会:水生生物観察会やワークショップ開催を機に、「吉田川を愛する会」を設立) ○流域水環境連絡協議会を設置した活動団体に対する、「地域独自の水環境目標」の設定支援 (穴の川を守る会:穴の川流域を地域の憩いの場とし、美化、防犯、防災等の保全を図る 吉田川を愛する会:多種多様な生物が生息し、自然にあふれた吉田川を取り戻す)	

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-1-3			事業名	水辺とのふれあい推進事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
【参考】流域水環境連絡協議会(仮称)の設置	-	-	-	1件	2件 (累計)	3件 (累計)	
【参考】ワークショップの開催	-	-	-	2回	2回 (累計)	3回 (累計)	
地域独自の水環境目標設定数	-	-	-	-	2件 (累計)	3件 (累計)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水生生物調査用品の提供・貸出、ハンドブックの配布、職員の派遣等の支援事業を実施することにより、学校・地域での水環境保全活動の輪が着実に拡大している。また、市民・市民活動団体、小学校等が相互に連携した水生生物観察会等も行われている。</li> </ul> <p>■企業等との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[資金協力] 該当なし</li> <li>[人材協力] 該当なし</li> <li>[情報協力] 該当なし</li> <li>[その他の協力] 該当なし</li> </ul> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水生生物調査用品の提供・貸出及びハンドブックの配布等により、水生生物観察会の支援を行った。</li> <li>水辺の活動発表会の発表者を広く公募するとともに、市民が参加しやすい日程・場所とし、より多くの団体に活動内容を発表する機会を提供した。</li> </ul>							
評価(成果)				課題			
<p>○水生生物観察会等の実施支援により、小学校、活動団体、行政の相互の連携が図られ、身近な水環境への関心が高まりつつあり、水辺の環境保全意識の醸成に効果があった。</p> <p>○小学校や市民団体等が参加した水辺の活動発表会の開催により、活動団体相互の連携や交流、情報交換等が行われるなど成果があった。</p> <p>○水生生物観察会やワークショップ開催を機に流域水環境連絡協議会が設置され、目標の3団体には至らなかったが、2団体で地域独自の水環境目標が設定された。</p>				<p>○水生生物観察会の実施団体に対して水環境目標の設定を働きかけたが、目標設定には至らない団体もあり、より効果的な支援方法を検討する必要がある。</p> <p>○今後の事業計画の参考とするため、各活動団体の意向の把握に努める必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
○水辺の保全を市民との協働で推進するために、各活動団体の意向を把握し、より効果的な支援方法を検討した上で、水辺とのふれあい推進事業を継続していく。							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-1-3			事業名	水辺とのふれあい推進事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	298	301	301	300	1,200				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0	0				
	一般財源	298	301	301	300	1,200				
予算	事業費	298	386	466	529	1,679				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0	0				
	一般財源	298	386	466	529	1,679				
実績	事業費	265	38	15	231	549				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他	0	0	0	0	0				
	一般財源	265	38	15	231	549				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					45.7%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度] 発表会延期による減額										
[21年度] ハンドブックの増刷を行わなかったことによる減額										
[22年度] 活動発表会関係費等の節約による減額										